

おうみはちまん 議会だより

2023
(令和5年)

第55号

5月1日発行



今号の主な内容

- 2 ~ 10 ◆ 3月定例会の概要・代表質問・個人質問
- 11 ~ 12 ◆ 常任委員会審査報告
- 12 ~ 13 ◆ 委員会報告
- 14 ◆ 議会運営委員会視察報告・視察受入報告
- 15 ~ 16 ◆ 提出議案と議決結果一覧・お知らせ



二次元バーコード（個人
質問ページ）で本会議で
の質問の様子をご覧いた
だけます

3月定例会の概要

令和5年第1回（3月）市議会定例会を2月16日から3月24日までの37日間の会期で開きました。

2月16日の開会日には、諸般の報告の後、市長提出議案として、市民の皆さんから納得と共感をいただき、ともに成長し活力ある地域づくりを目指す「市民共感成長予算」と位置づけ、「子ども・子育て支援」、「活力ある地方創り」、「GX・DX推進」、「安心安全な生活基盤の強化」をキーワードにバランスよく配分した「令和5年度近江八幡市一般会計予算」をはじめとする60件の議案と、議員提出議案の3件が上程されました。上程された議案のうち、人事案件24件については、即日採決し、同意しました。また、同日、道下直樹議員に対する議員辞職勧告の動議が6名の議員から提出され、採決の結果、賛成少数で否決しました。

議案熟読期間を経て再開された2月27日には、追加議案として市長提出議案2件、議員提出議案として意見書2件が上程され、27日、28日には、3会派が代表質問を行いました。続いて、3月8日には奥田孝司議員

員の辞職許可の後、8日から10日の3日間で、13名の議員が議案質疑や市政全般に対する個人質問を行いました。

上程された議案、意見書は、各委員会へ付託され、13日から16日の4日間には予算常任委員会、17日には総務常任委員会、20日には教育厚生常任委員会、22日に産業建設常任委員会を開き、当局から議案に対する説明を受け、慎重に審査を行いました。

24日の閉会日には、各常任委員会の審査報告の後、「令和5年度近江八幡市一般会計予算」に対する修正案が森原陽子議員ほか1名から提出され、討論、採決を行った結果、修正案は否決、原案を可決して、本定例会に当局から提案された議案については、全ての議案を可決しました。

また、議員提出議案については、「防衛費「GDP2%」の増額すること」に反対する意見書の提出についての1議案を除き、全てを可決しました。

その後、追加議案として、財産区管理委員の選任に係る人事議案1件、

また、令和4年12月13日の動議採決の際に、議長が起立者数を読み違えたことの訂正を求める動議が3名の議員から提出があり、議案日程に追加しました。なお、人事案件については、全員賛成で同意、動議については、賛成少数で否決しました。

各会派の代表質問の内容は次のとおりでした。

創政会

- ① 令和5年度当初予算について
- ② 市長公約の取り組みについて
- ③ 教育行政について
- ④ 市立総合医療センターについて
- ⑤ 西の湖周遊サイクリングロード等の整備について
- ⑥ 空家対策について
- ⑦ 商工業振興について

政翔会

- ① 令和5年度当初予算について
- ② 本市の危機管理について
- ③ 当市のDX推進状況について
- ④ 近江八幡市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱の一部改正について
- ⑤ 地域密着移動手段確保事業について
- ⑥ 商工観光行政について
- ⑦ 農業政策について

日本共産党

- ① 新庁舎建設について
- ② 危機管理 安土地下道について
- ③ 雪害対策について
- ④ 安土コミュニティエリア整備について
- ⑤ コロナ対策について
- ⑥ 自衛隊への名簿提出について
- ⑦ 高齢者対策について
- ⑧ 妊産婦から子育て期にわたる切れ目ない支援について
- ⑨ LGBTQ、ジェンダー平等について
- ⑩ 学校給食について
- ⑪ 西の湖環境学習について
- ⑫ 市長との懇談の持ち方について



代表質問



創政会

令和5年度

当初予算について

岡田 彦士



問 小西市政2期目の2年目、令和5年度の当初予算は、市民の皆様から納得と共感をいただき、ともに成長し活力ある地域づくりを目指す「市民共感成長予算」として位置づけられています。

そこで、令和5年度当初予算の編成方針「近江八幡市第一次総合計画」に掲げられている基本方針とキーワードは何なのか、お示しください。

加えて、市長公約の実現に向けた施策のうち、当初予算に優先課題として反映されたものはどのようなものか、市長の所信を伺います。

答 市長

令和5年度当初予算は、近江八幡市第一次総合計画に掲げる6つの基本目標「教育・人づくり」「福祉・医療・人権」「環境・歴史・文化」「産業・観光振興」「都市基盤整備」「地域自治・行政経営」を踏まえ、『子ども・子育て支援』『活力ある地方創り』『安心安全

な生活基盤の強化』『グリーン・トランスフォーメーション（GX）・デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進』の4つをキーワードにバランスよく配分した予算としました。公約実現に向け優先して予算を計上した事業については、「学校給食費多子世帯支援事業」「子ども医療費助成事業」「地域密着移動手段確保事業」など市民目線で市民の皆様と協働しながら、ともに成長し活力ある地域づくりに繋がる事業を実施してまいりたいと考えています。



「その他の質疑・質問」

- ① 市長公約の取り組みについて
- ② 教育行政について
- ③ 市立総合医療センターについて
- ④ 西の湖周遊サイクリングロード等の整備について
- ⑤ 空家対策について
- ⑥ 商工業振興について

代表質問



政翔会

令和5年度

当初予算について

辻 正隆



問 令和5年は、長らく国民を苦しめたコロナ禍を乗り越える節目の年でもあるかと思っています。今定例会に提出されました令和5年度当初予算は、市民の皆様から納得と共感をいただき、ともに成長し活力ある地域づくりを目指す『市民共感成長予算』と位置づけ、「子ども・子育て支援」「活力ある地方創り」「GX・DX推進」「安心安全な生活基盤の強化」をキーワードに、多くの事業を盛り込み、バランスに配慮した予算としたとのことですが、市長の令和5年に目指す思いをお聞かせください。

また、財政については、今後、大型公共施設整備の投資がある中で、依然として続きます物価高騰や燃料高の影響を受ける可能性もあり、市債（借金）と基金（貯金）のバランスにおいて、持続可能な財政基盤の確立に向けて今後どのように取り組まれるのかお尋ねします。

答 市長

令和5年度当初予算編成における私の思いは、先行き不透明な時代・環境下にあって、聖域なく変化を敏感に感じ取り、率先して試行錯誤を繰り返しながら

ら道を切り拓き、前例にとらわれることなく、明確な目的と意思を持って施策の実行にあたることに極めて重要であり、すべての職員が気概を持って市政運営にあたりたいと考えています。持続可能な財政基盤の確立については、庁舎整備事業、国民スポーツ大会整備事業および安土コミュニティエリア整備事業等への財政出動が令和6年度以降控えており、中期財政計画における市債および基金残高の適正規模、今後の公債費の推移に注視しつつ、市債と基金のバランス、財政調整基金とその他特定目的基金のバランスに留意しながら、持続可能な財政運営に努めてまいります。



「その他の質疑・質問」

- ① 本市の危機管理について
- ② 当市のDX推進状況について
- ③ 近江八幡市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱の一部改正について
- ④ 地域密着移動手段確保事業について
- ⑤ 商工観光行政について
- ⑥ 農業政策について

代表質問



日本共産党

井上さゆり

新庁舎建設事業について



問 日本共産党が実施したアンケート結果からも庁舎の早期建設を求める声は多数占めていました。小さな庁舎大きな福祉への期待です。

しかし、昨年の入札は中止、資材は4割の高騰となり、債務負担行為の額は67億6070万円、当初から約17億円増加となっています。

令和3年7月までに2回の住民説明会とパブリックコメントが実施されたことから、令和3年9月議会に提案できる条件は整っていたと考えますが、市長は市長選挙後に提案するとされました。

なぜ、市民に見える形で示すタイミングを遅らせたのですか。また、建設費が増えたことについて市民に説明し、理解を求めべきではありませんか。

答 市長

令和3年9月定例会での債務負担行為の議案上程を見送ったことについては、「市長選挙の結果によって庁舎整備の方針転換がないように慎重に進めるべきである」といった議員意見が多かったことを踏まえ総合的な

判断として、市長選挙で信任を得られたうえで予算を上程する考えに至ったためです。

建設費の増額は、既に報道等でご認識の市民の方も多くおられるとは存じますが、市庁舎整備の必要性や基本計画、基本設計や今後の工事内容などについて、より一層の理解が得られるよう、引き続き、広報紙やホームページ等を活用しながら周知に努めてまいります。



「その他の質疑・質問」

- ①危機管理 安土地下道について
- ②雪害対策について
- ③安土コミュニティエリア整備について
- ④コロナ対策について
- ⑤自衛隊への名簿提出について
- ⑥高齢者対策について
- ⑦妊産婦から子育て期にわたる切れ目の支援について
- ⑧LGBTQ、ジェンダー平等について
- ⑨学校給食について
- ⑩西の湖環境学習について
- ⑪市長との懇談の持ち方について

個人質問



志誠会

西津善樹

市役所新庁舎建設について



問 小西市長が前庁舎計画を断契約解除されて早や5年。今回の債務負担行為は関連費を合わせて約71億4千万円。そこに契約解除違約金等を加算すると、現時点で前庁舎建設計画面積2万1千㎡の半分9千㎡で、前計画落札価格81億円とあまり変わらない金額となりました。このまま物価高騰が続けば、さらに追加補正予算が組まれ大きな負担になる可能性もあります。「市民共感成長予算」と名づけて予算上程されるのであれば、まず市民に対して丁寧な説明責任を果たし、市民から「納得と共感」を得てからにされるべきではないでしょうか。

答 総合政策部長

庁舎整備費として67億6070万円の債務負担行為の予算上程を行いました。物価高騰により建設費は増額していますが、維持管理費等を含むライフサイクルコストを抑制するため、行

政機能に特化したコンパクトな庁舎とする方針に変更はありません。整備方針や経過は、広報紙や市民説明会等で市民の皆様へ説明をして参りました。建設費は、増額することとなりますが、先を見据え、コンパクトな庁舎にすることで、将来も含めた負担を軽減することが重要であると考えています。本定例会で予算の承認がいただけましたら、より一層の理解が得られるよう、引き続き周知に努めて参ります。



「その他の質疑・質問」

- ①市政運営について
- ②安心・安全なまちづくりについて

個人質問



創政会

岡山 かよ子

ふるさと応援寄附 推進事業について



問 ふるさと納税事業は、本市の地域産業や観光資源を他県・他市町に向けた魅力発信のPR施策として、効率的かつ実行性のある事業と認識しています。

令和4年4月1日から12月末までの寄付金額は約48億7300万円、昨年同期比109.1%とのことです。

① ふるさと納税事業に係る経費はどの程度かかるのか。

② 本市民がふるさと納税をすることによる本来税収となる市民税はいくらか。

③ 魅力あるふるさと納税物品推進に関して、具体的にどのような施策を行っているのか。

答 総合政策部理事・総務部長

① ふるさと納税の募集に要した経費を総務省に報告しており、令和3年度は、その経費の合計額が、21億5241万677円となり、令和3年度寄附の受入額47億8583万6200円に対し、約45%相当を経費として

要しています。

② 令和3年1月から12月までの間に寄附をされた方において、税額を軽減した額は約1億7700万円です。

③ 本市ならではの地場産品の約650種類を返礼品として取り扱っており、これらの返礼品の申込数増加により、地場産品及び地域産業の振興など、地域活性化に寄与できていると考えています。

今年度より、さらなる取組として、「新規謝礼品発掘・開発プロジェクト」に、市内参加事業者をはじめ、庁内関係課と連携し、新たな特産品、返礼品として全国に広くアピールするべく、取り組んでいます。



「その他の質疑・質問」

① 除雪対策について

② 近江八幡市の福祉施策の充実について

個人質問



政翔会

小川 広司

新市庁舎建設について



問 新市庁舎建設のための債務負担行為額67億6070万円が提案されました。前回中止に終わった50億4896万円に比べ、今回は全体工事費上昇率約40%を見込んだ大幅な増額となっています。

私は、庁舎建設に関連して、多額のふるさと応援寄付金を使うというか、使わせて頂くことは良いことだと考えています。納税者のみなさんにも近江八幡市のシンボルの一つである庁舎にふるさと応援寄付金が使われていると思うことは、使い道が明確で悪いことではないと考えますが、市の見解をお尋ねします。

答 総合政策部長

市庁舎整備における財源につきましては、エネルギー消費量を標準的な建物の半分にするための費用に交付される環境省の※ZEB（ゼブ）Ready（レディ）補助金や合併推進債などの市債

の発行を予定しています。その他、特定財源としては、公共施設等整備基金や議員ご提案のふるさと応援基金等の活用を考慮する場合も含め、全体的な財政運営における検討を行い、各年度の予算編成時に充当額を定めることとなります。



※ZEB（ゼブ）とは、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（略称。快適な室内環境を保ちながら高効率設備等により省エネルギーに努めることで、一次エネルギー（自然界から得られた変換加工しないエネルギーのこと。石油、石炭等。）の年間消費量が大幅に削減されている建築物のことを指す。ZEB Ready（ゼブレディ）は、一次エネルギー年間消費量50%以上削減に適合した建築物。

「その他の質疑・質問」

① 自治会について

個人質問



新国会

こどもまんなか社会

実現に向けて

道下直樹



問 乳児おむつ等支給事業については、近隣では東近江市が導入し、甲賀市においても職員の声から導入が実現しました。

以前、議会質問でも触れさせていただきましたが、今一度乳児おむつ等支給事業とはどのような事業なのか、説明をお願いします。

また、本市も乳児おむつ等支給事業の導入を検討していただけませんでしょうか。当局のご所見をお聞かせください。

答 副市長

近隣市で実施されている事業は、満1歳未満の乳児を養育しておられ、希望される世帯へ毎月1回1500円相当の紙おむつ等を届けるもので、配達時に見守りや声掛け等の育児不安の解消に努めることを目的とされています。

本市では、乳児がおられる家庭へ全戸訪問や産後ケア事業、訪問型支援のホームスタート事

業等を実施しており、産後の親の不安や育児不安の解消、切れ目のない子育て支援を実現してまいりたいと考えておりますが、今後もニーズを的確に把握し、おむつ宅配も含めたより効果的な子育て支援策について検討してまいります。



「その他の質疑・質問」

- ① 非常事態時の市民保護について
- ② 人口減少対策について

個人質問



創国会

道路行政について

片岡信博



問 上田出町線とJR踏切区間は、歩道が整備されていないため、歩行者や自転車の通行は、非常に危険であると言われています。特に雨の日や雪の日は、傘などが車と接触することは、頻繁に起こっております。

以前の定例会個人質問では、近江鉄道踏切道とその前後120mの歩道帯については、一体的に整備する方針との回答を頂いておりましたが、現在の進捗状況をお伺いいたします。

答 都市整備部長

上田出町線の近江鉄道踏切道と、前後の歩道整備の進捗状況については、現在、鉄道事業者の近江鉄道株式会社と踏切道改良の基本協定の締結に向けて協議を進めております。

その中で、軌道内の歩道幅2.5mを確保するためには、軌道を横断する水路の改修が必要と判明しましたが、施工が難しく

事業費も高額となることから、横断水路の支障とならないよう東側の歩道幅を一部縮小するなど、整備計画の変更も含め、少しでも早く事業進捗が図れるよう、継続して協議を進めているところです。



「その他の質疑・質問」

- ① 商工業振興について
- ② フレイルについて

個人質問



創政会

老蘇こども園の

駐車場について

井上 芳夫



問 老蘇こども園が0歳児から受け入れられる園になったことは、地域として大変喜ばしく子育てしやすい素晴らしい地域になったと思っています。

しかし、50〜60人だった園児が100人を超える園児になったことで、先生、職員等も増え駐車場の増設が必要になったと思われる。

こども園の送り迎えの時間は、隣の老蘇コミュニティセンターの駐車場までいっぱいになっているという状況です。老蘇こども園の駐車場を増やしていただけないか。

答 副市長

老蘇こども園の保護者駐車場は老蘇コミュニティセンター駐車場に隣接する形で8台のスペースを確保していますが、短時部の送迎時には混み合う時間も生じており、老蘇コミュニティセンターの駐車場も利用しています。

今後、短時部の保護者には、

車以外での送迎や短時間での駐車場利用を改めて呼び掛けます。また小学校との間のスペースを活用することにより、少しでも保護者駐車場が広く安全に利用

いただけるように取り組みます。

また、こども園やコミュニティセンターの駐車場について、周辺に活用できる場所がないか調査を進めます。



「その他の質疑・質問」

- ① 防災協定について
- ② 水道事業について

個人質問



凜成会

コロナ差別と

いじめ問題について

山元 聡子



問 コロナの陰性証明の提出を要求したとする企業が問題視される新聞報道等をよく見かけます。市において、直接、陰性証明書を要求した職場等での差別事象について相談はありますか。

また企業等への陰性証明等を求めないことの周知方法、啓発活動はどのようにされていますか。周知されている内容があれば改めて詳細をお教えください。

答 市民部長

陰性証明書を要求した職場等での差別事象にかかる市民相談は、市には寄せられておりません。市では、厚生労働省の「新型コロナウイルス感染症に関するQ&A（企業の方角け）」に示された内容をもとに、感染後、療養期間の解除により職場復帰した際、陰性証明の提出や別室での隔離勤務を求めたりすることとは、偏見や誤解による人権侵害につながるものとして、市ホームページに「職場などでの新型

コロナウイルス感染症への対応」と題して厚生労働省の通知文と併せて掲載しております。



「シトラスリボンプロジェクト」とは、コロナ禍で生まれた差別や偏見に対し、愛媛県内の有志の方々により、特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、地域と家庭と職場などで、「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちをめざす取組として始まった運動です。



「その他の質疑・質問」

- ① 危機管理 雪害対策について
- ② オープンガバナンスについて

個人質問



公明党

山本 妙子

預かり保育について



問 岸田首相が年頭に「異次元の少子化対策を」と発表してスタートした本年。本市においても給食費の減免措置や18歳までの医療費無料等、弾力的に進めていただいております。今後子どもを産み育てやすい近江八幡となるよう、支援の拡充を望むところです。

そこで、預かり保育について、以下の4点をお尋ねします。

- ①本市の実施状況はどのようになっていますか。
- ②幼稚園においても、預かり保育を実施できませんか。
- ③未就園児の一時預かりの現状はどうなっていますか。
- ④利用料・利用時間等の拡充を求める声に対して、今後、どのような未就園児の支援を検討されていますか。

答 副市長

①現在、認定こども園の短時部児童が利用する幼稚園型一時預かり事業を公私立合わせて7園で実施し、空き定員を活用した余剰活用型預かり保育を2カ所、2歳までの未就園児が対象

の一般型の一時預かりを1カ所で実施しています。

②現在、公立幼稚園での預かり保育は実施していませんが、今後の実施に向けて、実施規模や制度内容について、調査・検討しているところです。

③余剰活用型は、2施設で利用者は年間延べ20名程度、一般型は、令和3年度は延べ565名、令和4年度は1月末までで延べ452名の児童が利用されました。

④令和5年度に、低所得者を対象に利用料金を半額に軽減し、また未就園児の一時預かりを民間委託し、1ヶ所増設する予定です。



「その他の質疑・質問」

- ①高齢者の配食サービスについて
- ②乳がんグロープについて
- ③フリースクール支援補助金について
- ④子宮頸がんワクチンについて
- ⑤誰一人取り残さない選挙のために
- ⑥市民相談より感じたこと
- ⑦今後の市営住宅について

個人質問



日本共産党

森原 陽子

高齢者福祉について



問 带状疱疹の予防接種の補助制度が、滋賀県内初で新設されます。

带状疱疹とは、どのような病気ですか。

予防接種の費用と、補助制度をつくるにあたってのねらい、制度の具体的な内容をご説明ください。

答 副市長

带状疱疹とは、水ぼうそうと同じウイルスである水痘带状疱疹ウィルスで起こる皮膚の病気です。50歳以上になると発生頻度が高まり、80歳までに3人に1人が带状疱疹を経験すると推定されています。带状疱疹の発症率を低減させ、重症化を予防する方法として、带状疱疹ワクチンの接種があり、市では接種を希望される50歳以上の市民を対象に、シングリックス1回目5000円、1回目から6カ月未満接種後の2回目を5000円、ビケン1回分につき1500

円を上限として助成し、接種を希望する人の経済的負担を軽減するとともに、带状疱疹の発症率を低減させ、重症化を予防することで、高齢者のQOL（生活の質）を高め、健康寿命の延伸を図っていきます。



「その他の質疑・質問」

- ①性的マイノリティの人権とジェンダー平等に関わって
- ②待機児童の解消と放課後児童クラブの拡充について
- ③地域防災計画に基づく実効ある危機管理について
- ④地産地消を進め、持続可能な農業について
- ⑤管理委託とインフラ整備の諸課題について

個人質問



ひめくらぶ

山本英夫

選択無形民俗文化財
保存事業について



問 左義長祭りは、近江八幡市の代表的な火祭りの一つであり、町衆の祭りとして文化の伝承、コミュニケーションにおいて大きな役割を果たし、信長も踊りだしたといわれている祭りです。

この祭りも含め、近江八幡の三つの火祭りに対し、選択無形民俗文化財保存事業として、昨年と比べて倍額の予算が計上されています。

保存伝承を図るためとされていますが、どのような取り組みを考えられての予算計上であるのか、ご答弁をお願いします。

答 総合政策部理事

左義長祭り、八幡祭り、篠田の花火は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、3年間、休止や規模を縮小されていますが、令和5年から通常開催が予定されています。しかしながら、物価や輸送費の高騰の影響を受け、祭礼の根幹となる原材料費やコロナ対策費など各保存

会の負担が増加し、それに伴い担い手不足も深刻化していることから、補助金の上限を27万円から、50万円に増額するものです。本市を象徴する火祭りが継承されることは、若年層を中心とした住民による地域活性化や、観光振興等にも寄与すると考えております。



「その他の質疑・質問」

①重文景観保存活用事業について

個人質問



創政会

南 祐輔

近江八幡駅より南側の地域
における都市計画について



問 馬淵学区では岩倉バイパスの整備が動き始めているところであり、完成すれば近江八幡駅より南側の地域の外部環境が現在とは大きく変わってくることを予想されます。

そこでバイパスの完成に合わせてその周辺地域で商業施設などができれば、地域全体の活性化にもつながるのではと考えます。

岩倉バイパスのルート近辺で商業施設や店舗を建築するようになった場合、どのような種類の施設で、どの程度の規模のものが建築可能か、またその規制の根拠もお示し下さい。

答 都市整備部理事

近江八幡市都市計画マスタープランでは、岩倉バイパス沿線の馬淵地区は農業を支える田園ゾーンとして構想していますので、商業施設で賑わう計画ではありません。従って、土地利用については、一般的な市街化調整区域の条件の範囲内となります。

す。具体的にこの地域で開発行為による土地利用を計画される場合は、都市計画法第34条に規定された開発許可基準に適合した敷地面積が500㎡以内で、かつ建築面積が200㎡以内の小売店舗等や、面積制限のない沿道サービス等が対象となります。しかし、何れも一定の条件をクリアされての土地利用計画となります。



「その他の質疑・質問」

①岩倉バイパスについて

②日野川上流のダム放流について

③オーブンガバナンスと、将来におけるメタバース等の仮想空間の可能性について

個人質問



創政会

大川 恒彦

八幡西中学校前道路と
江頭古川線の交差点について



問 この交差点は八幡西中学校前道路、江頭古川線、江頭9号線の3路線が合流している、変則で非常に危険が伴う交差点です。

優先道路が江頭古川線から江頭9号線へと変わり、分かりづらい交差点構造となっており、事故が起らない方が不思議なくらいです。

また、八幡西中学校前道路も完成が近づいてきており、完成すれば交通量も増えることが予想されますが、この交差点における交通安全対策と交差点改良等については、どのように考えておられますか。

答 都市整備部長

西中学校前の農道と、市道江頭9号線、市道江頭古川線が交差する変則な交差点は、3線が歪に交差する複雑な形状のうえ、優先道路も分かりづらく危険な交差点である事は認識しています。

このことから、何らかの対策は必要と考えますが、抜本的な対策には時間を要することから、まずは、通行者の安全確保を優先し、早期に効果の発現が出来る対策について、庁内関係部署並びに関係機関と協議を進めるとともに、交差点改良等についても検討していきます。



「その他の質疑・質問」

- ① 地域役員のなり手不足について
- ② 農業が抱える諸問題について
- ③ 学校支援活動等の地域間交流について
- ④ 選挙投票率の向上について

個人質問



チームはちまん

竹尾 耕児

市営住宅の老朽化について



問 地区改良事業により整備されてきた市営住宅が古いものでは建築よりおよそ50年を迎えようとしています。改良住宅は主に譲渡を進めて行っておられますが、中層団地等では入居の募集を停止していたりと、今後どのようなしていくのか市民にはわからない市営住宅もあります。

どんどんと老朽化していく市営住宅をこのまま使い続けることは難しいと考えます。市営住宅の老朽化問題について、当局の考え方を聞かせください。

答 都市整備部長

改良住宅におきましては、昭和49年度から住宅地区改良事業及び小集落地区改良事業で計596戸の改良住宅を建設、中層団地は昭和48年度から建設を行い安土地域は昭和41年度に建設した住宅があります。

建設から50年以上経過し老朽化が著しい住宅は新たな募集を停止して入居者の住み替えの検

討を行っているところです。

改良住宅においても、高齢化等で譲渡が困難な世帯もおられることから、譲渡推進の方針を検討する必要があると考えております。

老朽化する市営住宅につきましては、近江八幡市営住宅マスタープラン見直しの中で、住宅に困窮されている方などの必要戸数を把握し、市営住宅の確保戸数と住み替え住宅の確保戸数を検討いたします。



「その他の質疑・質問」

- ① 市民広場と庁舎連携について

予算常任委員会審査報告書

委員長 井上 芳夫

予算常任委員会は3月13日、14日、15日および16日に委員会を開催し、「議第1号 専決処分の承認を求めることについて 令和4年度近江八幡市一般会計補正予算（第7号）」、「議第2号 令和4年度近江八幡市一般会計補正予算（第8号）」、「議第11号 令和5年度近江八幡市一般会計予算」、「議第61号 令和4年度近江八幡市一般会計補正予算（第9号）」の4件について審査しました。採決の結果、議第1号、議第2号および議第61号は全員賛成で原案を承認および可決、議第11号は賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。

なお、審査過程における主な意見として、議第2号令和4年度近江八幡市一般



会計補正予算（第8号）について、補助金の交付等における予算執行において、単に申請がなかったからとして、必要とする市民への補助金に関する十分な周知や補助金申請に係る計画書の作成等の支援など、もっと積極的に補助金の活用を促すような市民に寄り添った対応ができていなかったように見受けられた。

また、今回の補正予算全般において、不用額の金額が大きく、国の補助金等の採択に関して、年度の早い時期に内示が出ていたのであれば、12月補正において補正すべきである。もし不採択であれば、早期に事業の精査を行い、次の方針等を立て、事業実施に取り組むべきであった、との意見がありました。

議第11号令和5年度近江八幡市一般会計予算については、新市庁舎整備事業について、予算が約20億円上積みされたことをもっと市民に発信すべきであり、説明不足である。一旦、市民への理解を求めてから6月議会において上程すべきである。また、安土コミュニティエリア整備事業について、住民に対して、移転先に関する説明が不十分であり、拙速な判断ではなく、十分に調査を行った上で進めるべきである、との反対の討論がありました。

それらに対し、今回の当初予算では、特に新規事業について、子ども医療費助成等、課題を踏まえたものであり、市民に共感していただける事業となっている。また、新市庁舎整備事業については、

後年度負担の軽減の観点から、ふるさと応援基金の積極的な活用を検討を求めるとともに、現市庁舎の著しい老朽化や調査研究し議論を尽くしてきた経過からも、判断を先送りするのではなく、早期に建設に着手するべきとして、賛成の討論がありました。

総務常任委員会審査報告書

委員長 平井 信治

総務常任委員会は、3月定例会で付託された議案について、3月17日に委員会を開催し、当局に対し詳細な説明を求め、議案質疑等を行い審査しました。

予算関連議案3件、条例関連議案4件、その他議案1件については、いずれの議案も全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

また、議員提出議案の意見書1件につ



いては、賛成少数で原案を不採択すべきものと決しました。

なお、審査過程において、議第16号の令和5年度近江八幡市文化会館事業特別会計に関し、現在、貸館については、ネットによる予約には対応しておらず、ホームページでの予約状況の公開も大ホールと小ホールのみとなっていることから、今後、市民がより利用しやすいように他の部屋の予約状況の公開等についても検討し、周知を図ってほしい、などの意見がありました。

教育厚生常任委員会審査報告書

委員長 南 祐輔

教育厚生常任委員会は、3月20日に委員会を開催し、当委員会に付託された予算関連議案10件、条例関連議案7件について、当局に詳細な説明を求め、議案の質疑等を行い、審査しました。

予算関連議案について、議第3号、議第4号、議第5号、議第6号、議第8号、議第12号、議第13号の7件は全員賛成で、議第14号、議第15号、議第17号の3件は、賛成多数で、原案を可決すべきものと決しました。

また、条例関連議案7件については全員賛成で、原案を可決すべきものと決しました。

なお、審査過程における主な意見として、まず議第14号については、高齢化が進んでいるにもかかわらず介護保険の認



定者数は横ばいとなっており、特に要支援の認定者数は激減している。このことから、身体機能低下予防のためにサービ
スを利用することが望ましい高齢者が充
分なサービスを受けられていない状況に
あることが推察され、サービスの一層の
拡充を図りたいとの意見がありました。
た。

また、議第17号については、疾病が増
加する年齢の高齢者を国民健康保険から
後期高齢者医療へ移行させること、また、
収入が減少する高齢者に医療費2割負担
を求めることについて、制度上の課題が
あるため反対するとの意見がありまし
た。

産業建設常任委員会審査報告

委員長 道下 直樹

産業建設常任委員会は、3月22日に委



員会を開催し、3月定例会で付託された
予算関連議案4件、条例関連議案3件、
その他議案2件と、議員提出議案の意見
書1件の計10件について、当局に対し詳
細な説明を求め、また、意見書について
は、提出者の同会派議員に対し説明を求
め、議案質疑等を行い審査しました。

予算関連議案4件、条例関連議案3件、
その他議案2件については、全員賛成で
原案を可決すべきものと決しました。ま
た、会第6号の意見書は、賛成多数で
原案を可決すべきものと決しました。

なお、審査過程において、議第18号の
令和5年度水道事業会計予算では、重要
管路耐震化事業及び老朽管更新事業につ
いて、現在の整備率、全体整備計画に対
して質疑がありました。議第31号の地区
計画の区域内における建築物の制限に関
する条例の一部を改正する条例の制定に
ついて、今回のように地区計画区域の迫

加、拡大される場合の公園等の公共施設
用地については、規模、位置も含めて利
用計画の在り方や開発における協議、調
整が必要との意見がありました。

教育厚生常任委員会活動報告

委員長 南 祐輔

教育厚生常任委員会では、昨年度、障
がいのある子どもの子育てをされている
保護者の方との意見交換会を実施し、繼
続して調査に取り組んでまいりました。
令和5年2月14日、発達障がいと知的障
がいのある人の疑似体験型啓発キャラバ
ン隊「花bee」より講師を招き、発達
障がいと知的障がいのある方の日常生活
についての実情をお聞きしました。ま
た、障がいの疑似体験を行うことで、
障がいがある子どもの子育てについて理

解を深めました。

保護者の方の体験談から、感覚過敏で
あるお子さんが「服を着る」ことができ
るようになるまでには大変なご苦労が
あったこと、ずっと生まれ育った地域で
住み続けたい願いをもっておられること
などを伺いました。

障がい疑似体験では、「ことば」を使
わず自分の思いを別の手段で伝えるのは
難しいこと、「がんばって」や「大丈夫」
などの声かけが人によってはかえってプ
レッシャーになることなど、実際に障が
いのある方の困り感を体験したことは、
どのような支援や合理的な配慮が必要か
を考えるうえで、大変参考になりました。

市庁舎整備等特別委員会報告

委員長 竹尾 耕児

本委員会では、これまで基本計画及び
基本設計について市当局に説明を求め、
新庁舎の位置や規模及び構造、新庁舎建
設に関する予算、契約方式などの調査・
研究を進めて参りました。

5月26日の委員会では、市長より市庁
舎整備のこれまでの経過、整備方針、将
来を見据えた庁舎、コストバランスを重
視した庁舎など、庁舎のあるべき姿、考
えを改めて述べられました。また、新庁
舎整備事業に係る「債務負担行為」の補
正予算案を6月市議会定例会に上程する
ことを説明され、市長の考え、事業費、
今後のスケジュールに対して質疑を行い



ました。引き続き、議員間協議を行い、4月の市長選において、現計画での市庁舎整備を公約に掲げ、かつ信託を受けたという結果を委員会で確認しました。

6月9日の委員会では、市庁舎整備計画の推進の是非について各委員に確認を行い、多数の是とする意見をいただきました。是とする中にも条件付きのものもあり、市庁舎整備を推進するにあたって、5つの意見を提言として取りまとめ、6月市議会定例会の予算常任委員会で報告し、新市庁舎整備事業にかかる債務負担行為を含む補正予算案は可決されました。しかし、その後、設計施工一括方式で行われていた整備工事の一般競争入札は、入札要件の成立が満たさなかったため中止となりました。

1月19日の委員会では、入札中止に至った要因分析、概算事業費及び整備スケジュールの見直しについて説明を受けました。特に概算事業費は、近年の建設需要の増加や、コロナ禍の長期化、ウクライナ危機・急激な円安などによる建設資材価格、労務単価の高騰に伴い、解体費を除く建設概算工事が45・7億円から62・6億円に増額となることの説明がありました。

市当局には、こうした事態の変化に対する市民への説明責任を丁寧に努められ、今後の情報共有の在り方や、市庁舎整備を推進するにあたっての提言事項に對し、対応を求めました。

本年4月の改選後に発する近江八幡市

議会においても、これまでの経過を踏まえ、成熟した議論へとつなげられるよう期待を申し上げ、以上、令和4年度の市庁舎整備等特別委員会の報告といたします。

政治倫理審査会の概要

委員長 北川 誠次

令和4年12月15日付けで、山元聡子議員の全員協議会での発言に對し、議員8名から議長へ、近江八幡市議会議員政治倫理条例第5条の規定に基づく審査請求書が提出され、「近江八幡市議会議員政治倫理審査会」を設置し、審査を行いました。

委員会では、議長より指名された8人の委員により、審査の請求に對して、審査事項を「政治倫理基準と請求審査内容の適否及び審査事項の特定について」、「審査対象者への事実確認及び審査対象者の意見の表明及び弁明について」、「審査請求事項（政治倫理基準に違反する行為）の存否の審査・決定について」、「審査後の措置について」として、3回の審査が行われました。

審査の結果、請求された審査の事案は、近江八幡市議会議員政治倫理条例第4条第1項第3号の規定に違反していることが認定され、市民及び議会に對する信頼回復のための審査後の必要な措置とともに、審査結果がまとめられ、令和5年1月26日に議長に報告されました。

審査結果を受け、審査後の措置として、議長から審査対象議員への厳重注意文書の交付等が講じられました。併せて、議会として、政治倫理に関する議員全体研修等の実施により倫理意識の向上を図り、市民全体の代表者として、その役割及び社会に對する責務を深く自覚し、市民の倫理及び良心の模範となるよう引き続き努めてまいります。

12月定例会調査委員会の概要

委員長 平井 脩治

令和4年12月定例会における議事運営や議員の言動に関する問題に對し、原因及び経過、内容等の調査を行うため、「令和4年12月市議会定例会に係る議会運営等調査委員会」を設置し、調査を行いました。

委員会では、議長より指名された8人の委員により、令和4年12月定例会の議会運営の経過に關すること、緊急動議に係る採決等に關すること、議員間における新型コロナウイルス感染症の取扱いの対応に關すること、の各項目について、5回の審議が行われました。

審議においては、関係議員にヒアリングを実施し、経過の事実確認を行うとともに、発生原因について協議を行いました。また、市議会の適正化に向けて、今後取るべき措置がまとめられ、令和5年2月3日に調査結果が議長に報告されました。

調査結果を受け、市民の信託を受けた議会として、議会秩序及び品位の保持を図るとともに、研修等を通じて法令遵守と倫理意識の向上に努めてまいります。

議会改革の取組について

委員長 大川 恒彦

市議会では、市民に開かれた議会にするため、議会改革推進委員会を設置しており、議会活動等の議会改革の推進に關することについて協議を行っています。当委員会は、令和4年度は委員会を計7回開催し、主な検討項目を前年度からの継続検討事項である「市議会タブレット端末導入に係る運用規程について」及び「政務活動費について」として、検討を行いました。

検討の結果、「市議会タブレット端末導入に係る運用規程について」は、令和5年度予定のタブレット端末の導入に向けて、運用規程案を作成しました。また、「政務活動費について」は、政務活動費の課題等を項目ごとに洗い出し、使途基準の詳細の明確化を図るため、まずは「広報費」について見直しを行い、特に広報紙発行に係る使途基準の具体的な取り決めに對してまとめました。



<視察項目>

千葉県袖ヶ浦市 「新庁舎における議会フロア及び議場設備について」

茨城県取手市 「タブレット端末の議会での活用・議会ICTの取り組みについて」

袖ヶ浦市は、激甚化する自然災害から市民の生命・財産を守るため、令和元年12月より、庁舎整備事業を実施されています。令和4年7月に議会フロアを含む北庁舎を新築されたことから、本市の新庁舎整備事業の参考とするため視察を行いました。

議会フロアは、「市民に開かれた明るい議場」をコンセプトに、展望ロビーを兼ね、外壁面は全てガラスで構成し、眺望と開放感に優れた空間となっていました。

また、議場内は、車いすに対応した通路幅を確保し、スロープを設置するなど、ユニバーサルデザインに配慮した議場となっていました。

設備面では、議会システムを導入し、映像、音声を一元管理するほか、電子採決システムを採用。採決結果や中継映像を4台の大型モニターで放映するなど、議会運営の効率化と市民に開かれた議会の両立を図られていました。

議場のイメージを明るいものに、市民に分かりやすいものにする意図が随所に反映されており、大変参考となるものでした。

取手市は、市議会では初の議会改革度調査（早稲田大学マニフェスト研究所）で2年連続全国ランキング1位になるなど、ICTを活用した議会への市民の参加、情報公開を目指した活動をされています。

タブレット端末を活用した事例としては、提出予定議案のオンライン事前説明や委員会審査におけるオンライン現地調査、市民・PTA・医療従事者との意見交換会、中学生とのコラボ事業、ICTを活用した議会災害対応訓練などを実施されています。



議会における様々な活動において、ICTを活用した効率化、省力化を図るだけでなく、常に新しいアイデアに取り組む意識を持ち、市民はもとより議員にも分かりやすい議会活動を実施されていました。

今回の視察研修を通して、ハード面、ソフト面の違いはありますが、訪問した両市議会とも「市民に開かれた議会」を目指して議会活動に取り組まれていました。研修で学んだことを生かして、本市議会における新庁舎議場フロアの検討及びICTを活用した議会運営について、今後、調査研究に取り組んでまいります。



令和4年度行政視察受入報告

No.	視 察 日	議 会 名	視 察 内 容
1	令和4年 4月19日	滋賀県高島市議会	環境エネルギーセンターについて
2	令和4年 5月13日	佐賀県佐賀市議会	医療的ケア児の受け入れについて
3	令和4年 7月31日	群馬県館林市議会	人と文化の交流する場所「文芸の郷」
4	令和4年 8月 2日	三重県東員町議会	地下水の活用について
5	令和4年11月 2日	香川県東かがわ市議会	VR安土城高精度型システムの活用について
6	令和4年11月 8日	熊本県宇城市議会	議会改革について
7	令和4年11月14日	兵庫県丹波篠山市議会	近江八幡市における観光戦略と文化を活かした取組について
8	令和4年11月10日	宮城県多賀城市議会	スケートパーク（健康ふれあい公園）整備について
9	令和5年 1月12日	岡山県西部衛生施設組合	環境エネルギーセンターについて（新ごみ焼却施設と熱利用施設の整備について）
10	令和5年 1月24日	埼玉県鴻巣市議会	環境エネルギーセンターについて
11	令和5年 1月25日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会	環境エネルギーセンター及び隣接するプール棟における太陽光発電及び蓄電池について
12	令和5年 1月30日	兵庫県朝来市議会	産前産後の切れ目のない子育て支援について
13	令和5年 2月 9日	埼玉県久喜市議会	市庁舎整備事業について

令和5年第1回(3月)近江八幡市議会定例会に提出された議案と議決結果

賛否の分かれた議案																									
議案番号	件名	付託委員会	会派	創政会							政翔会			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦					
			議決結果	南大川	井上恒彦	岡山芳夫	岡山かよ子	岡田彦士	小西励	片岡信博	北川誠次	沖茂樹	奥田孝司	辻正隆	小川広司	森原陽子	玉木弘子	井上さゆり	山本妙子	道下直樹	平井省治	西津善樹	竹尾耕児	山本英夫	山元聡子
3月市議会定例会																									
◇ 予 算																									
議第11号	令和5年度近江八幡市一般会計予算(修正案)		否決	×	×	×	×	×	-	×	×	×	/	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○
	令和5年度近江八幡市一般会計予算(原案)	予算	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	
議第14号	令和5年度近江八幡市介護保険事業特別会計(保険事業勘定) 予算	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議第15号	令和5年度近江八幡市介護保険事業特別会計(サービス事業勘定) 予算	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議第17号	令和5年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計予算	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
◇ 議員提出議案(意見書)																									
会第4号	道下直樹議員に対する議員辞職勧告決議案について		否決	×	×	×	×	○	-	×	×	○	○	○	○	×	欠	×	×	除	×	○	○	×	○
会第5号	防衛費「GDP2%」の増額することに反対する意見書の提出について	総務	否決	×	×	×	×	×	-	×	×	×	/	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×
会第6号	LGBT(性的少数者)の人権と個人の尊厳を守る社会の実現を求める意見書の提出について	産業建設	可決	退	×	○	○	○	-	○	○	○	/	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会第7号	令和4年12月13日の動議採決の際に、議長が起立者数を読み違えたことの訂正を求める決議案について		否決	×	×	×	×	×	除	×	×	○	/	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	退

①:日本共産党 ②:公明党 ③:新政会 ④:志誠会 ⑤:チームはちまん ⑥:ひむれクラブ ⑦:凜成会

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席 除…除斥 —…議長は採決に加わっていません。

*奥田 孝司議員は、令和5年3月8日に議員辞職

全員一致で承認・可決・同意・採択した議案		
議案番号	件名	付託委員会
◇ 予 算		
議第1号	専決処分の承認を求めることについて 令和4年度近江八幡市一般会計補正予算(第7号)	予 算
議第2号	令和4年度近江八幡市一般会計補正予算(第8号)	予 算
議第3号	令和4年度近江八幡市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	教育厚生
議第4号	令和4年度近江八幡市介護認定審査会共同設置事業特別会計補正予算(第1号)	教育厚生
議第5号	令和4年度近江八幡市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)	教育厚生
議第6号	令和4年度近江八幡市介護保険事業特別会計(サービス事業勘定)補正予算(第1号)	教育厚生
議第7号	令和4年度近江八幡市文化会館事業特別会計補正予算(第2号)	総務
議第8号	令和4年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	教育厚生
議第9号	令和4年度近江八幡市水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設
議第10号	令和4年度近江八幡市下水道事業会計補正予算(第2号)	産業建設
議第12号	令和5年度近江八幡市国民健康保険特別会計予算	教育厚生
議第13号	令和5年度近江八幡市介護認定審査会共同設置事業特別会計予算	教育厚生
議第16号	令和5年度近江八幡市文化会館事業特別会計予算	総務
議第18号	令和5年度近江八幡市水道事業会計予算	産業建設
議第19号	令和5年度近江八幡市下水道事業会計予算	産業建設
議第20号	令和5年度近江八幡市病院事業会計予算	総務
議第61号	令和4年度近江八幡市一般会計補正予算(第9号)	予 算
◇ 条 例		
議第21号	近江八幡市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	総務
議第22号	近江八幡市個人情報保護審査会条例の制定について	総務
議第23号	近江八幡市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第24号	近江八幡市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設

全員一致で承認・可決・同意・採択した議案		
議第25号	近江八幡市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第26号	近江八幡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第27号	近江八幡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第28号	近江八幡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第29号	近江八幡市介護基本条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第30号	近江八幡市火葬場条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第31号	近江八幡市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第32号	近江八幡市都市公園条例及び近江八幡市都市公園のうち有料施設の属する都市公園の管理及び運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第33号	個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	総務
議第62号	近江八幡市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
◇ その他		
議第34号	財産区財産の譲渡をすることにつき議決を求めることについて	総務
議第35号	市道路線の認定につき議決を求めることについて	産業建設
議第36号	市道路線の変更につき議決を求めることについて	産業建設
議第37号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第38号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第39号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第40号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第41号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第42号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第43号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第44号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第45号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第46号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第47号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第48号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第49号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第50号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第51号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第52号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第53号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第54号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第55号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第56号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第57号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第58号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第59号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第60号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第63号	常楽寺財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	省略
◇ 議員提出議案		
会第1号	近江八幡市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	省略
会第2号	近江八幡市個人情報保護条例の施行に関する議会規則を廃止する規則の制定について	省略
会第3号	近江八幡市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	省略

付託委員会欄の「予算」は予算常任委員会、「総務」は総務常任委員会、「教育厚生」は教育厚生常任委員会、「産業建設」は産業建設常任委員会です。「庁舎」は市庁舎整備等特別委員会です。

【お知らせ】

**6月市議会定例会の日程は、詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。
また、市議会臨時会の結果については、次号（第56号）に掲載します。**

皆さまからの議会運営に関するご意見を、メールまたは文書にて、議会事務局までお寄せください。

〒523-8501 近江八幡市桜宮町236番地 Eメール：020200@city.omihachiman.lg.jp FAX：0748-36-7101



●インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）
●印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷